

令和5年度 第3回 越前警察署協議会 開催結果

1 日時

令和5年10月13日（金）午後3時30分から午後5時15分

2 場所

越前警察署 2階講堂

3 出席者

- (1) 協議会委員 5名
- (2) 越前警察署 署長以下11名



4 内容

- (1) 新人警察官自己紹介
- (2) 会長挨拶
- (3) 警察署長挨拶
- (4) 議事

ア 管内の治安情勢等

各課より各種取組状況の説明

イ 質疑・応答

【委員】

近所の小・中学生が集団ではなく個々で下校しているところをよく見掛ける。事件や事故に巻き込まれるのではないかと心配である。

【署長】

当署では、幼・保育園、小学校、中学校、高等学校において、不審者対策、防犯対策を行っている。当署員が各学校を訪問して防犯教室等を行い、一人で帰宅することの危険性や集団で下校することの必要性を繰り返し児童・生徒に指導している。

また、学校側にもなるべく集団下校をする機会を増やすよう依頼している。

【委員】

越前署管内においても、若年層における薬物事案の発生はあるのか。

【署長】

本年度、当署において発生はないが、県下においては高校生による薬物事案の取扱いがある。全国的にみても、若年層による薬物事案は増加しているので、当署においても当然発生があるということを念頭に、日々の捜査活動に取り組んでいる。

【委員】

近所で危険な運転をする高齢者を見掛けることが多く、交通事故を抑止するには高齢者対策が必要だと考えるが、高齢者に対する個別指導等は行っているのか。

【署長】

本年9月から、交通安全協会の協力を得て、頻回事故歴者の自宅を訪問し交通

安全指導を行う取組みを始めている。また、現在、管内各地区で開催されている交通安全協会主催の講習会で当署の交通課員が講師を務め、参加した高齢者に対し交通安全指導のほか、身体機能の衰えに関する説明や運転免許証の自主返納に関する広報を行っている。

【委員】

ブラジルの方は、日本は安全だと思っており、子供の門限を深夜0時頃に設定していると聞く。管内に多く居住するブラジルの子供の保護者に対し、子供が深夜出歩くことは危険であると指導して欲しい。

【署長】

当署では、少年の深夜徘徊、たばこ、飲酒等に関する補導活動を強化しているところであるが、ブラジルの少年は日本の少年に比べて危機意識が低いと感じる。

当署のスクールサポーターが管内の小・中学校を訪問し行っている防犯教室において、深夜出歩くことの危険性を訴えとともに防犯指導を徹底し、子供たちの防犯意識の向上を図っていくほか、保護者に対する指導についても強化していく。

【委員】

夏休み中の話であるが、ヘルメットをかぶらずに自転車を運転する高校生をよく見掛けた。高校生の多くは、自転車に乗るときにヘルメットをかぶっていないのではないか。ヘルメット着用の重要性を指導して欲しい。

【署長】

福井県は自転車利用時のヘルメット着用率が低く、これを福井県警察でも重要視している。

当署でも高校生のヘルメット着用率を上げる取組みとして、管内の県立武生高等学校をモデル校に指定して生徒に着用を呼び掛けたり、県立武生東高等学校の生徒と一緒に着用を呼び掛ける広報啓発活動を行ったりしている。

また、高等学校進学後も自転車用ヘルメットの着用習慣を継続させることができないうか、中学校も含めた対策について、現在行政担当者と話を進めているところである。

5 柔道・剣道訓練見学
会場：4階武道場

6 薄暮時における街頭啓発活動
署前において、交通関係団体とともに薄暮時における街頭啓発活動「セーフティフライデー」に参加。

7 開催状況

<質疑・応答の状況>



<柔道・剣道訓練見学の様況>



<薄暮時における街頭啓発活動の様況>

